

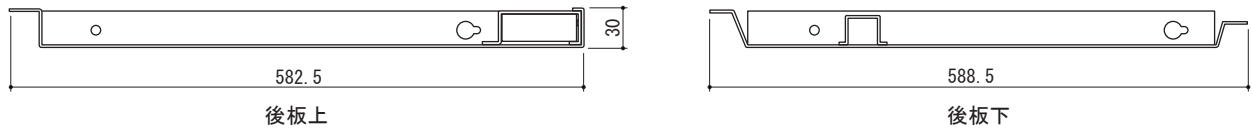
① 機種一覧表

品番	機種	床面積	容量	間口	奥行	床荷重強度
①	DCN-149M	1.31㎡(0.40坪)	約1300ℓ	1460mm	900mm	2000N/㎡ (200kgf)
②	DCN-149P					
③	DCN-189M	1.63㎡(0.49坪)	約1600ℓ	1810mm		
④	DCN-189P					

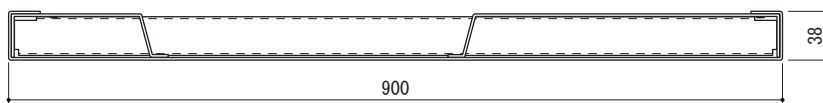
② 主要部材仕様

品番	主要部材	材質	呼び厚さ(mm)
①	後板 B 上・下	溶融亜鉛めっき鋼板/F12(JIS G 3302)	0.7
②	側板	〃	0.7
③	下補強・前・後・後B・中ガイド	〃	1.0
④	下補強後カバーB	〃	0.7
⑤	前パネルB上・B中・下	〃	0.7
⑥	中棧	〃	1.6
⑦	扉上パネルA・B/扉下パネル	〃	0.7
⑧	扉	〃	0.7
⑨	メッシュ床	炭素鋼線材 亜鉛メッキ後PE皮膜	φ3.0+φ5.0
⑩	パネル床	ポリプロピレン+ポリエチレン(再生樹脂)	9.0

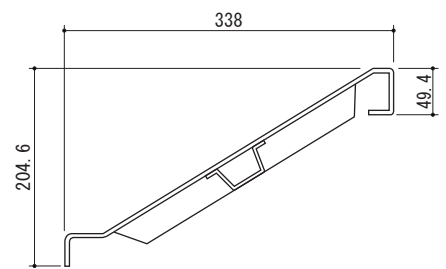
①後板B上・下 t=0.7



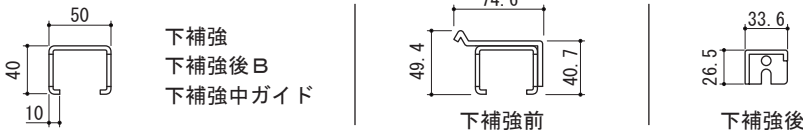
②側板 t=0.7



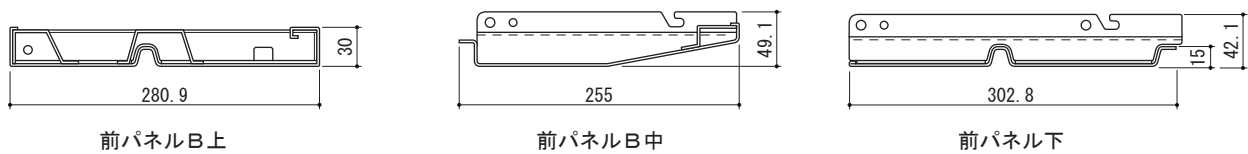
④下補強後カバーB t=0.7



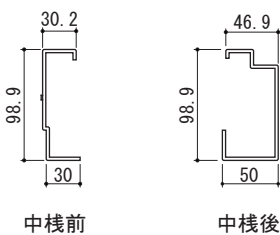
③下補強・前・後・後B・中ガイド t=1.0



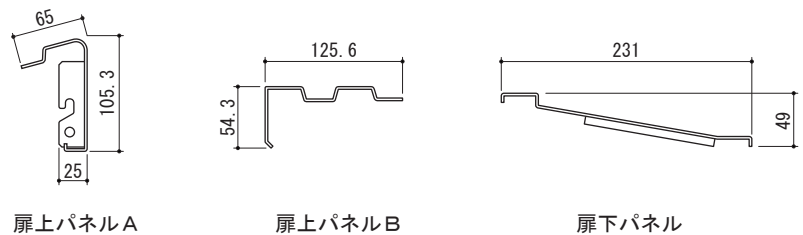
⑤前パネルB上・B中・下 t=0.7



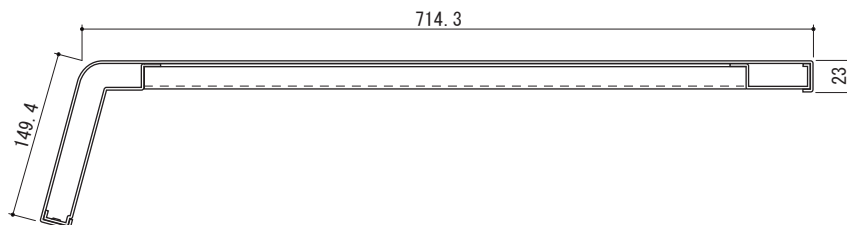
⑥中棧 t=1.6

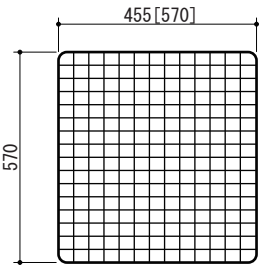
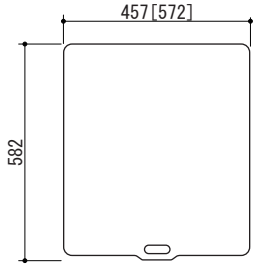


⑦扉上パネルA・B/扉下パネル t=0.7



⑧扉 t=0.7



<p>⑨メッシュ床 内枠φ3.0 外枠φ5.0</p>  <p>[]内は189用</p>	<p>⑩パネル床 t=9.0</p>  <p>[]内は189用</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③ その他の部品仕様

部 品 名	材 質	表 面 処 理 ・ 色
ボルト	冷間圧造用炭素鋼線材(SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート
ハンドル本体/レバー	アルミニウム合金押出型材(A6063)	陽極酸化皮膜
ラッチ部材	ステンレス(SUS304)	-----
ラッチロック	ZDC(亜鉛ダイキャスト)+POM樹脂	ZDC:ニッケルめっき POM:黒
平面裏丁番	熱間圧延鋼板(SPHC)	電気亜鉛めっき EP-Fe/Zn12 CM2(有色クロメート)
ハンドルレバーカバー,側板ブッシュ 扉ヒンジピンカバー,ラッチ受板カバー	POM樹脂(耐候グレード)	ミストグレー
ラッチストライカー,側板カバー ハンドルカバー,ボルトキャップ	AES樹脂	ミストグレー
ラッチ掛金カバー	PC/ASA樹脂	ミストグレー
連結ボルト受	ABS樹脂	プラチナライト
ガススプリング	-----	黒
側板(前パネル)ストッパーゴム	エチレンプロピレンゴム(EPDM)	側板:黒 前パネル:サンドベージュ
アジャスター	ボルト・ナット:冷間圧造用炭素鋼線材(SWRCH) 台座:SPCC	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート

④ 表面処理及び塗装

- 塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て化成処理をしております。
- 塗装は高耐候粉体塗料ポリエステル樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
- 膜厚及び塗装色は下表に示す通りです。

塗 装 部 品	膜 厚		塗 装 色 (マンセル番号)
	屋 外 面	屋 内 面	
下補強中・後板	40 μ m以上	40 μ m以上	ミストグレー(N7)
後板	〃	〃	
側板	〃	〃	
中棧	〃	〃	
扉下パネル	〃	〃	
下補強前	〃	〃	サンドベージュ(10YR 6/1)
前パネル	〃	〃	
扉	〃	〃	
扉上パネル	〃	〃	

⑤ 耐久性

◎塗装面

(1) 硬さ試験	硬度Hの鉛筆引っかき試験(JIS K 5600)に耐えること。
(2) 付着性試験	100/100基盤目試験(JIS S 1031)に耐えること。
(3) 耐おもり落下性試験	撃芯直径12.7mmに300mmの高さから500gのおもりを落とす耐おもり落下性試験(JIS K 5600)に耐えること。
(4) 耐塩水性試験	約20℃の3%の塩水に100時間浸す耐塩水性試験(JIS S 1031)に耐えること。
(5) 耐食性試験	5%の塩水噴霧試験法(JIS Z 2371)に500時間耐えること。
(6) 耐候性試験	サンシャインウェザーメーターによる促進暴露試験(JIS A 1415)で300時間の照射に耐えること。 または、キセノンランプ法による促進暴露試験(JIS K 5600)で300時間の照射に耐えること。

◎扉の可動

(7) 耐久性試験	扉(ヒンジ部)は、開閉繰返し性試験30,000回に耐えること。
-----------	---------------------------------